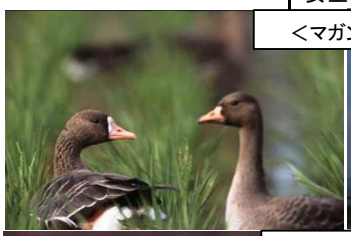
プログラム資料　　【屋外活動】

No.	110	モーニングフライト（野鳥観察）			
概　要	早朝に宍道湖岸に出かけ，双眼鏡で飛来する冬鳥を観察する。				
内容	人数（人）	～40人	時間	1～1．5時間	
	対象	どなたでも	時期	11月～3月	
	場所	斐伊川河口付近			
	指導形態	自主活動　・　事前の説明のみ　・　直接指導			
	安全管理	引率者と担当職員による監視			
ねらい	○　冬鳥（主にマガン・白鳥）の観察を通して，宍道湖周辺の自然のよさを実感し，環境保全への意識とともにふるさと島根への愛着を高める。				
準　備	施設から貸出	・双眼鏡，フィールドスコープ ・資料…必要に応じて使用する。 パンフレット「ぼくたち，わたしたちの宍道湖・中海とラムサール条約」 リーフレット「宍道湖・中海探鳥マップ」 写真「野鳥カード」			
	団体で準備	活動しやすい服，防寒具			
	確認事項	○ 事前に日の出の時間を調べ，活動時間を決定する。 ・早朝（日の出）に行う。＊日の出時刻：11月6:15前後,12月7:10前後,1月7;15前後 ○ 効果的な活動になるために　2月6:55前後，3月6:20前後 上記の資料等を使用しラムサール条約などについて事前学習をすることができる。 （本所での事前学習の実施については要相談） ○ 研修者への事前指導 ・安全管理については団体の責任で行う。 ・話の聞き方や観察のマナー等も事前に打合せをする。 ○ 鳥インフルエンザの情報に留意する。			

	内　容	留意事項
活動前	＜職員との打ち合わせ＞ ・集合場所と集合時刻の確認 ・貸出物品の確認 ・観察マナー、安全指導など注意事項の確認	○荒天時は相談の上，実施判断をする。 ※荒天時でもバスの車中や雨具を着用して観察を実施することができる。
活動の説明	○職員による説明 ・めあてや活動の進め方 ・注意事項について ・必要な物品を受け取る。（準備物参照） ○講師/職員による説明 ・「フィールドマナー」について話を聞く。 「フィールドマナー」 や・・・野外活動，無理なく楽しく さ・・・採集は控えて自然はそのままに し・・・静かに，そ～っと い・・・一本道，道からはずれないで き・・・気を付けよう，写真，給餌，人への迷惑 も・・・もって帰ろう，思い出とゴミ ち・・・近づかないで，野鳥の巣	＜注意事項＞ ・落ちている鳥の羽は拾わない。 ・ふんを踏まない。 ・双眼鏡等の器具の取り扱いについて
展開	1）サン・レイクバスで斐伊川河口へ移動。（15分程度） 2）野鳥観察をする。 （マガン,白鳥など） 3）バスでサン・レイクへ帰る。 ・車中で,感想など振り返りをする。 4）貸し出し物品を返却する。  ＜マガンのフライト＞ ＜コハクチョウのフライト＞ 	＜引率者，職員＞ ・安全について十分注意する。